

基本方針02

人と地域がつながり続けるうきは

空き家の活用や交流拠点の再整備を進め、多世代・多様な人が関わる地域コミュニティを再生します。都市部からの関係人口や移住者とのつながりを深め、地域の持続力を高めます。

現状と課題

- うきは市では高齢化や人口減少の影響により、地域コミュニティの希薄化や空き家の増加が進行しています。
- 若者世代の流出や都市部への人口集中により、地域の持続性が問われる中で、移住定住を促す施策の強化と、地域に根ざした交流や支え合いの仕組みづくりが求められています。
- 空き家の活用や関係人口の拡大を通じた外からの視点を取り入れた地域再生が急務です。

対応方針

- 都市部からの移住や交流を促進するため、空き家の利活用や、お試し移住などの受入体制の整備を図ります。
- 担い手の育成や交流拠点の整備を通じて、多世代・多様な人々が交わる場づくりを進めます。
- 市民協働による「地域の再生力」を高め、関係人口や移住者が地域に関与できる仕組みを構築します。

KPI

空き家の活用件数が年間10件以上



施策1

地域魅力体感
「うきはまち住み・旅住体験」

施策2

空き家再生と交流拠点整備
「まちの縁側プロジェクト」

施策3

関係人口創出
「うきはローカルワーク参加促進」

施策1

地域魅力体感 「うきはまち住み・旅住体験」

基本的方向

- 都市部在住者を対象に、お試し住宅や短期滞在施設を活用した「旅住」プログラムを展開します。
- 空き家の利活用促進と地域との接点づくりを両立させ、移住前の不安軽減とミスマッチの解消を図ります。
- 滞在者と地域住民との交流機会を設け、定住意向の喚起を促進します。

KPI

市が実施する公共交通サービス利用者数14,000人以上

主な事業

- 移住促進事業
- オンラインを含めたU・I・Jターン希望者向け移住相談窓口の設置
- Uターン者向け実家リフォーム費助成
- 中高生と移住者の交流事業
- 同窓会開催支援
- 移動をサポートするAI活用型オンデマンド交通や公共ライドシェアの導入
- 保育・学校の給食費の支援
- U・I・Jターン者雇用助成金

施策2

空き家再生と交流拠点整備 「まちの縁側プロジェクト」

基本的方向

- 増加する空き家をリノベーションし、交流拠点やゲストハウス、カフェなど地域の賑わい創出に繋がる施設として再活用します。
- リノベ支援制度や運営モデルの確立により、民間主体による再生を後押しします。
- 空き家を通じた多世代のつながりや、地域に訪れる人々との接点形成を促進します。

KPI

空き家の利活用件数が年間10件以上

主な事業

- 空き家のリノベーション事業
- 地域拠点の創出支援（ゲストハウス、カフェなど）
- 空き家情報バンクの拡充
- 民間主体による空き家活用支援

関係人口創出 「うきはローカルワーク参加促進」

基本的方向

- 市内での地域活動や仕事を体験できるプログラムを設け、地域外の人材との交流を通じて関係人口を創出します。
- 農林業体験、地域イベント、ワーケーションなどの多様なテーマを通じて、短期滞在から中長期的な地域関与へと導き、将来的な移住・起業へと繋げます。

KPI

定期的に自然環境の維持に関わる
外部の企業や人材数を10組以上

主な事業

- 地域活動体験プログラムの開発
- 農林業・観光体験ワーケーション受け入れ
- 学びと休暇で過ごすラーケーション受け入れ導入の検討
- 関係人口向け情報発信・マッチングの取組
- うきはとうきは以外の二地域居住者の受け入れ促進
- 若者向けまちづくり参加イベント